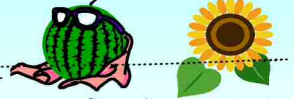


Advanced南薩 一日々前進



所長あいさつ

5 + 8 の計算がうまくできない子どもに、5円 + 8円と置き換えて尋ねると答えられることがあります。

私たちは課題に直面した時、情報を整理・選択し、経験知と照らし、解決を図ろうとします。それは子どもが積み木を高く積んでいく遊びに似ています。

バランスがとれるように組み上げるため、積み木の大きさや形を吟味します。つまり「イメージ」をもつということなのです。

買った物を上手に袋に収める作業も同じです。例えば、珠算の熟練者が大きな桁数を瞬時に暗算できるのは、エアそろばんを弾いているからだといえます。

この「イメージ」が「分かり方」の大切な要素であり、一人一人個性があります。演繹的に素早く理解したり、多くの例示によって帰納的に理解したり、また、実物などの具体物を見て納得できたり、

分かり方は千差万別です。そして、教師自身も自分の分かり方で学習してきています。特に、自分が得意だった教科の場合には、多様な「分かり方」をイメージできないこともあるかもしれません。

新たに学習することは、積み木のパーツが増えることです。子どもはその度に積み木を崩し、再び組み直します。ただ増えた分を上

に載せるという単純なものではありません。自分自身のイメージで捉えるため、知識を再構成する必要があります。

それは、グループでの学び合いだったり、独りで試行錯誤できる時間だったりします。

まずは、子どもが納得できていないことを感じた時について使ってしまう、

「分かりましたか。」
「はい。」

「では、次に進みます。」
「はい。」
「では、次に進みます。」
「はい。」
「では、次に進みます。」
「はい。」

夏季休業中の学習の充実

夏季休業中の学習が子どもたちにとって充実したものになるかどうかは、「学習を通して児童生徒にどのような成長を期待するのか」、「一人一人の学習への意欲や学習内容の定着度を把握し、それに応じてどのように手立てを講じたか」ということが大切です。

- 学習として課す課題は、内容や量などできる限り一人一人の状況に応じたものにする。
- 1学期の学習をふり返らせ、自分自身で学習内容を選択させるなど、自主的な取組となるよう工夫する。
- 事前に全体の見通しをもたせ、困難なところがあれば解決への手立てまで一緒に考える。(自由研究など)
- 学習時間の計画を立てさせ、まず最初の3日間をリズムよく過ごさせる。
- 学習の状況を把握し、2学期の学校生活にスムーズに適應できるようにする。

夏季休業後の子どもたちの成長が楽しみです。

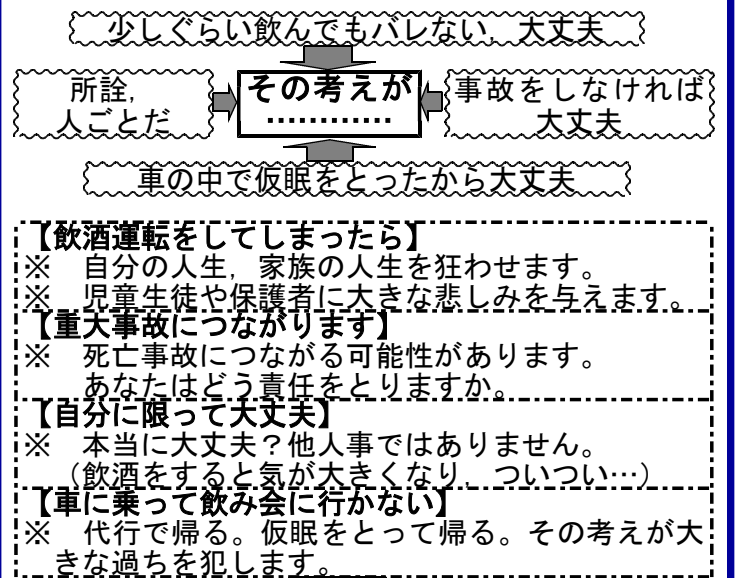
主体的・協働的な授業づくりを

鹿児島学習定着度調査の児童生徒質問紙では、児童生徒が、「ペアやグループで考えを出し合ったり教えあったりする」、「お互いに発表したり説明したりする」活動が多いと答えている割合が高い学校ほど学力が高い傾向が見られます。8月2日に予定している、「オープンサポート教科フォーラム」の中では、こうした主体的・協働的な授業づくりについて模擬授業を通して語り合える研修会となっています。現在、多くの先生方の参加申込みがありますが、参加した先生方が各学校でここでの研修成果を基に授業づくりについて語り合っていたいただければ幸いです。

なぜ続く、飲酒運転！？

平成27年度末から平成28年度初めにかけて、教職員の飲酒運転の処分記事及び教職員による飲酒運転の記事が掲載され、世間を騒がせました。

なぜ、飲酒運転が後を絶たないのでしょうか。



《よく考えてください。》

もし、自分がこのような行為をしたら、今後自分はどうなるのか、家族はどうなるのか、社会からどのような制裁を受けるのか

……《起こす前に》……

夏休みに向けた生徒指導

夏季休業日及びその前後の時期は、児童生徒が様々な体験活動を通して心身共に大きく成長する時期であるとともに、予期しない問題行動等が発生する時期でもあります。夏季休業の意義を児童生徒に十分理解させ、保護者や地域の方々にも協力を求め、一人一人が安全で、充実した生活を送ることができるよう、次の事項に留意した指導等をお願いします。

- ★ いじめ・家出・飲酒・喫煙・薬物乱用・火遊び等の問題行動を踏まえた命の大切さを強調した指導
- ★ スマートフォン・携帯電話・ネットに接続できるゲーム機等の利用における家庭内ルールの取り決め、フィルタリングの設定等の指導
- ★ 不登校、いじめ等の生徒指導上の課題を抱えている児童生徒への夏季休業中を利用した積極的な生徒指導

※ 夏季休業日は児童生徒が普段できない活動等を家庭や地域で行いますが、その分、教師の関わりが薄くなりがちです。したがって、夏季休業日を個別に語り込む絶好の機会と捉え、特に気になる子への計画的な関わりをお願いします。

夏休みに向けた安全指導

悲しい事故に子どもたちが遭わないために！

1 交通事故防止（27年度交通事故報告県下42件）

28年度交通事故0月間強調期間におけるスローガン

○幼児・児童の道路への飛び出し防止

～必ず止まって確認、みぎ・ひだり・みぎ～

○自転車運転のルール遵守とマナー向上

～ヘルメットをかぶろう～



2 水難事故防止（27年度県下死亡事故2件）

28年度の水難事故防止強調週間におけるスローガン

「水に親しみながら3M運動

みんなで めざそう 水の事故0」



安全な遊泳場所の確認や天候の変化への注意

3 熱中症防止

換気とこまめの水分補給・帽子の着用



【重要】：帰宅後、休業日においても学校が指導したことが正しく守られ、実践されるよう家庭との連携

【参考指導資料】「生きる力」をはぐくむ学校での安全教育 【文部科学省：H22年改訂】

地域にある文化財の活用を!!

学校では、子どもたちが生まれ育った地域に愛着をもつとともに、地域を誇りに思う教育の推進に、様々な地域素材を活用した教育活動が展開されていることと思います。それらの中から、とりわけ地域にある文化財を活用してみませんか。

南薩地区には、国・県・市指定の文化財が多数あります。しかし、自分たちの身近にどんな文化財があるか知らない子どもたちが多いのではないのでしょうか。そこで、まず、先生方にフィールドワーク等（夏季休業中の研修等に位置付けるなど）を通して、地域の文化財を知っていただきたいと思います。そして、総合的な学習の時間や教科等で教材化できるものを洗い出し、教育課程に位置付けたり、長期休業中の課題（自由研究）としたりして取り組んでほしいと思います。

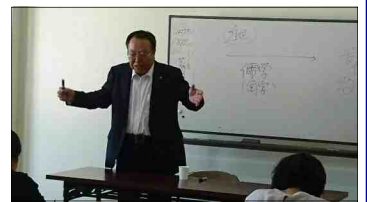
〈活動例として〉

- ・ 学校支援ボランティア等を活用して、地域の文化財を巡回する。
- ・ 文化財一覧（マップ）等を作成する。
- ・ 学校行事や地域行事等で発表する。 など

地区人権教育授業実践研修会

6月2日（木）枕崎市市民会館において、地区人権教育授業実践研修会を開催しました。

はじめに、「なくそう差別築こう明るい社会」を基にした講義や参加型学習の体験を通して、人権教育を推進していく上での留意点を確認しました。次に、県人権同和教育課担当指導主事による小学校6年社会科「戦国の世から江戸の世へ」の単元で、「差別されてきた身分の人々は、どのように生活して生きぬいてきたか」について模擬授業が行われ、正しい認識に基づいた授業の展開について研修を深めることができました。午後からの研究協議では、各学校の人権教育の推進状況について協議を行い、校種間で連携を図り研修を推進していく必要があるなどの意見が出されました。最後に、部落解放同盟鹿児島連合会山口武文執行委員長から講演をいただきました。参加者から「戦争は最大の差別である」という言葉を心に留めておきたいなど、多くのことを学ぶことができたとの感想が寄せられました。



合理的配慮協力員について

本地区に配置されている合理的配慮協力員 →

当所には、障害のある児童生徒等に対して、必要な合理的配慮が適切に提供されるように、合理的配慮協力員が配置（県内で4地区に配置）されています。協力員は、市教育委員会の依頼を受けて、合理的配慮の提供に係る相談対応や指導助言を行います。現在、数校の学校から校内研修での講話や相談の依頼を受けて対応しております。せっかくの配置ですのでより効果的な活用を期待しております。つきましては、各学校からの積極的な派遣依頼をお待ちしております。また、電話相談にも対応いたしますので、相談を希望する場合、☎0993-52-1281まで御連絡ください。

【宮原 幹治 合理的配慮協力員の略歴】

- ・ 県立第二養護学校教諭（現 串木野養護学校）
- ・ 鹿児島市立田上小学校教諭
- ・ 鹿児島市教育委員会指導課指導主事
- ・ 鹿児島市立和田小学校教頭
- ・ 県立加治木養護学校教頭
- ・ 鹿児島大学教育学部附属養護学校副校長
- ・ 県立皆与志養護学校校長
- ・ 九州地区肢体不自由教育研究協議会会長
- ・ 鹿児島大学客員教授
- ・ 鹿児島市教育委員会教育相談室室長
- ・ 加世田実業学園加世田附属幼稚園園長